

柏市立手賀東小学校

令和3年度の成果と課題

情報活用のベーシックプロセスを校内で統一したことで、どの学年の児童も自分のゴールを目指して主体的に学ぶ姿が見られた。低学年では動画作成，中学年ではオンラインでの調べ学習，高学年では外国人とのコミュニケーション等，多くの児童が満足感や達成感を味わうことができた。テーマの対象となる人材や団体の事前調査や情報収集・表現方法の見通しが課題となった。

令和4年度研究主題

「情報活用能力を活かした創造性をはぐくむ学び ～1人1台の端末を活用して～」

研究主題における GIGA 端末活用の位置づけ

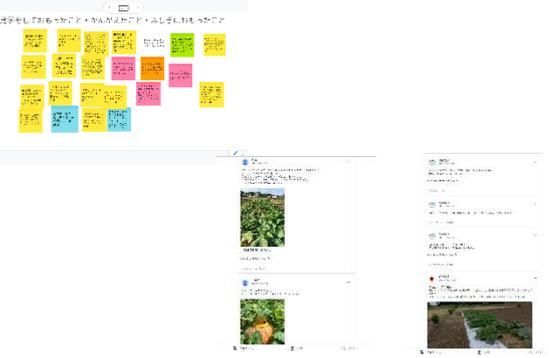
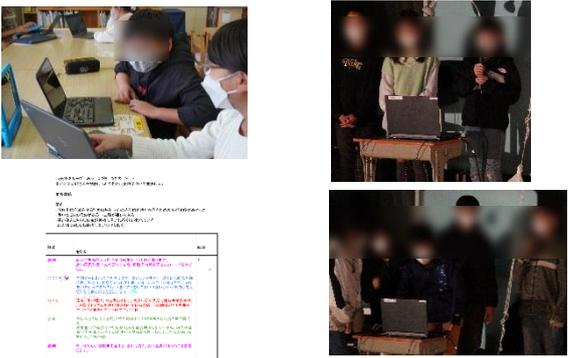
今年度は創立150周年を迎える背景の中で、手賀地域の農業と歴史をテーマとした。調べるだけでなく、調べたことを発信するために端末を活用し、より効率的かつよりわかりやすい発信方法を考えさせた。

1 研究の概要

時期	内容	項目
4月	<ul style="list-style-type: none">研究全体計画作成教師及び児童の担当地区（手賀・布瀬・片山）分担決めそれぞれの地区での調査内容決め時間割りの調整	研修
5月	<ul style="list-style-type: none">地区別活動の時間の設定ホームページ掲載現地（地区の畑）での活動	授業 校外
6月	<ul style="list-style-type: none">収穫に向けた作業外部への連絡チラシの作成	研修 授業
7月	<ul style="list-style-type: none">課題に対しての解決方法を考えるゲストティーチャーによる講話もぎ取り体験に向けての準備	授業 校外 授業
8月	<ul style="list-style-type: none">もぎ取り体験実施参加者へのプレゼンやアンケート実施	授業
9月	<ul style="list-style-type: none">道の駅落花生販売 ジャンボカボチャコンテスト出品に向けての準備販売 コンテスト当日の活動	研修 授業

	<ul style="list-style-type: none"> • 地区の歴史調査 	校外
10月	<ul style="list-style-type: none"> • 文化財などの現地調査やゲストティーチャーによる講話 • 150周年記念式典に向けたプレゼンテーション作成 	校外 授業
11月	<ul style="list-style-type: none"> • 150周年記念式典でのプレゼンテーション発表 	授業
12月	<ul style="list-style-type: none"> • 150周年記念式典でのプレゼンテーション発表の動画鑑賞会 • 児童振り返り 	授業
1月	<ul style="list-style-type: none"> • 研修の振り返り 	研修
2月	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度に向けて 	研修
3月		

2 おすすめの活用

学年 全学年		教科 生活科 総合	
単元 150周年記念式典に向けた手賀地域学習			
活用の概要（◆1人1台端末活用の場面） ◆個々の調べ学習の共有 ◆プレゼンの作成や動画編集			
活用場面	活用場面① 全体での調べ学習のまとめ 休日等に各自が取り組んだ調べ学習の共有	活用場面② 地区別活動でわかったことや課題をまとめる	
アプリ等	Jamboard を使い気づきの共有 Classroom を使い各自の調べ学習を地区ごとに共有	iPad の iMovie, Google スライドを使い, 新しく知ったことや自分たちでは解決できない課題を市長に伝えた	
写真			
1人1台端末を活用するメリット等	<p>1年生から6年生までの幅広い学年で調べ学習を行う中で気付きは様々であるが, Jamboard に書き込むことで, 意見をまとめることができ, 発表原稿を作成する時の手掛かりとなった。</p> <p>農作物は日々変化をし毎日の観察が必要となるが校外の畑に度々全員で観察に行くことはできない。そこで各自が端末を持って観察に行き, その様子を Classroom で共有することで全員が様子を知ることができた。</p>	<p>各自が端末を持つことでプレゼン準備を分担しやすくなり作業の効率化が進んだ。プレゼングループごとにドキュメントを使い発表原稿を書き込んだり, iMovie やスライドで発表する映像を作成したりすることができた。準備に必要な写真や動画の共有もしやすかった。</p> <p>またプレゼン準備を家庭で取り組む場合, 進捗状況を互いに確認することができた。</p> <p>プレゼンの方法は劇やスライド, 動画など, どれが最も伝わりやすいのか話し合い決定する場面もあった。</p>	

3 運用上の工夫

時期		内容	項目
年度初め			
1 学 期	4月～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別農作業体験において、全体で作業する活動は種まき（苗植え）と収穫と決める。その他の活動は、地区（手賀，片山，布瀬）ごとか個人とし、農作業や観察の様子を互いに共有したい場合、地区別の Classroom に載せることとした。 ・地区別学習（縦割り）の時間を設定。校外の畑で作業し畑から下校する場合も。 ・自主的な観察の依頼を畑の地図と共に保護者にも伝える。 ・農作物の成長，世話，収穫。また，収穫体験会への準備や実施などの様子などの中で，外部へ表現していきたい内容については，児童が学校ホームページに載せることとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰り ・保護者への周知 ・ルール
2 学 期	8月 9月 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中も続く農作業であり，全校児童で活動できない場合もあるため，活動後は Classroom や学校ホームページに載せることを勧める。 ・農作物の収穫期は農作物次第なので，農家との連絡を取りながら予定が立ち次第保護者に連絡をする。 ・販売体験は参加希望を取り，希望者のみで実施。 ・150周年記念式典に向けたプレゼンテーション作成は，各地区ごとに取り組むものの，全体の流れを意識し内容の修正や発表順の入れ替えを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰り ・保護者への連絡
3 学 期			

4 成果と課題

【成果】

手賀地域の中で生活をしていても意外と気付かない文化財について、端末を活用しながら調べ、まとめることで、より詳しく知ることができた。農作業体験については、身近な仕事でありながら関わることの少ない児童も多く、改めてその知識と技術を実感することとなった。更に手賀地域をより良くするための課題についても考え、150周年記念式典での来校者に対しては、地域のすばらしさと課題を発表することができた。6年生に対する調査においては、「自分の地域社会をより良くするために何をすべきかを考えることができる」という質問に対し、9割の児童ができると答えるようになった。縦割り班の学年差は大きいですが、1年生であっても「見学が楽しかったし、そのことをかっこよく発表していてすごいと思った」や「他学年と協力して発表の練習をして楽しかった」「自分の撮った写真が発表で使われて嬉しかった」など達成感を感じている振り返りを残している。

【課題】

今年度の取り組みでは、地域の方々の協力があったことであった。今後、このような学習を行うためには、地域の方との関わりを密にしていく必要がある。農作業体験は季節が大きく関わるため実施にあたっては早めに検討や準備を行う必要がある。

5 今後の展望

ICTを活用した学習については教科書があるわけでもなく、各学年がどのような学習に取り組めるかは、児童の実態や反応、各教科の内容などから見つけ出していく必要があった。そこで、今後は指導計画を作成する研究に取り組み、それぞれの学年で計画的に端末を活用した学習に取り組めるようにしていきたい。これまで本校で取り組んできた研究を生かし、系統立てた指導計画を立てることを考えている。